

ホームケアのポイント

町田市民病院 2017 年度 第 1 回市民公開講座

小児科 横井 健太郎

今回は、病院にかかる前にお家で対応が可能な問題についてお話しました。

まず最初に、発熱は最も頻度の高いお子さんの症状のため、平熱や発熱の定義、簡易的な解熱方法をお話しました。また、発熱や胃腸炎に伴う水分摂取についても具体的な内容と方法を提示いたしました。

さらに、医師から処方された薬を上手にお子さんに内服する方法をいくつか提案しております。育児書にあるような内容から実際に内服をさせる機会の多いお母様たちの“貴重な”意見も取り上げました。お薬ゼリーのレシピを具体的に示し、ゼラチンアレルギーや便秘で困っているお子さんには「寒天」を勧めております。

また、錠剤の飲めないお子さんへの指導方法や 1 日 3 回の指示に対する上手な内服方法についても触れております。